

# レファレンスだより



戸田市立図書館本館2階・参考資料室発行 2017年4月号 No.67

〒335-0021 戸田市大字新曽1707 TEL442-2800 HP <https://library.toda.saitama.jp/>

## いなり 梅の木稲荷について調べるには

梅の木稲荷<sup>\*1</sup>は、大正時代初期に信仰を集めた旧笹目村の流行神<sup>はやりがみ\*</sup><sup>2</sup>です。当時の新聞に、梅の木稲荷で起きた不思議な現象や、商売繁盛の御利益を求め東京から多くの参詣人<sup>さんげい</sup>が訪れたこと等が取り上げられています。

\*1: 本によって、梅木稲荷、梅の木稲荷、梅之木稲荷、梅ノ木稲荷等表記が異なります。

\*2: 何らかの理由で突然流行した神で、急速に衰退することが多く、宗教者が関与するのが特徴です(『日本民俗大辞典』p.393、『角川日本史辞典』p.862)。

## 戸田市に関する本で調べる。

■梅の木稲荷について調べる場合は、以下の本が参考になります。 ※紹介資料は一部です。

書名	出版者	出版年	分類	本がある場所
『戸田市史』 民俗編	戸田市	1983	T213.4	本館2階・戸田市関連
	p.980-983 「はやり神」 梅の木稲荷の概要を知ることができます。			
『戸田市史』 通史編 下	戸田市	1987	T213.4	本館2階・戸田市関連
	p.291-313 「はやり神・梅木稲荷」 梅の木稲荷について詳しく調べられます。			
『戸田市史』 資料編 5	戸田市	1985	T213.4	本館2階・戸田市関連
	解説IX-XI、p.153-187 (資料番号 36-41)、p.275 (資料番号 60)、図版6 「笹目村の梅之木稲荷」 大正2年(1913)及び大正8年(1919)に作成された梅の木稲荷関係資料を確認できます。図版では、大正2年当時の新聞記事及び絵葉書を掲載しています。			
『戸田むかし史ある記』 <small>ふみ</small>	戸田市教育委員会	1982	T213.4	本館2階・戸田市関連
	p.62-63 「梅之木稲荷」 梅の木稲荷の概要が簡潔にまとまっています。			
『戸田市史研究』 第3号	戸田市	1979	T213.4	本館2階・戸田市関連
	p.34-44 島田一廣 「梅之木稲荷繁昌記」 梅の木稲荷関係者等への聞き取り及び新聞記事を基に書かれた論文です。			
『美女木・下笹目の民俗』 (市史調査報告書第10集)	戸田市	1985	T382.1	本館2階・戸田市関連
	p.159 「屋敷神」 梅の木稲荷の概要を知ることができます。			

## 蕨市に関する本で調べる。

■梅の木稲荷について調べる場合は、以下の本が参考になります。 ※紹介資料は一部です。

書名	出版者	出版年	分類	本がある場所
『蕨市立歴史民俗資料館 紀要』 第6号	蕨市立歴史民俗資料館	2009	T069.6	本館2階・市町村郷土
	p.70-72「一時ハヤリ神様」(小林雅助「雑誌 <sup>ならび</sup> 并見聞録」内) 『雑誌并見聞録』は、蕨市在住の小林雅助 <sup>まさすけ</sup> により明治40年前後に執筆された雑記です。梅木稲荷教会の規定及び流行当時その繁盛ぶりにあやかりとうとした蕨の人々の様子が紹介されています。			

## 新聞記事から調べる。

■梅の木稲荷について調べる場合は、以下の記事が参考になります。 ※紹介資料は一部です。

記事名	新聞紙名	掲載年月日	出版者	ページ	記事が閲覧できる場所
「狐の尻尾」(1)	読売新聞	1913/4/22	読売新聞社	3	オンラインデータベース 受付:本館2階カウンター
	梅の木稲荷に関する記事が全5回連載されました。第1回目は、梅の木稲荷を祭っていた大畑家のこと、梅の木稲荷の不思議及び御利益について書かれています。				
「狐の尻尾」(2)	読売新聞	1913/4/23	読売新聞社	3	オンラインデータベース 受付:本館2階カウンター
	第2回目は、笹目村駐在所の門田巡査の大畑家搜索顛末、おじょんさん(大畑家の狐)及び梅の木稲荷のおかげで短期間に活気づいた村の様子が書かれています。				
「狐の尻尾」(3)	読売新聞	1913/4/24	読売新聞社	3	オンラインデータベース 受付:本館2階カウンター
	第3回目は、大畑家への参詣や奉納が絶えず浦和警察署が大畑家に干渉を始めたこと、大畑家の井戸水を売った料理店があったこと等が分かります。				
「狐の尻尾」(4)	読売新聞	1913/4/25	読売新聞社	3	オンラインデータベース 受付:本館2階カウンター
	第4回目は、梅の木稲荷の影響で、往来には簡易的な店構えの料理屋、鮎屋、しる粉屋等があったこと、地代が1日1坪1銭であったことが分かります。				
「狐の尻尾」(5)	読売新聞	1913/4/26	読売新聞社	3	オンラインデータベース 受付:本館2階カウンター
	第5回目は、小学校の先生が梅の木稲荷を迷信だと子供たちに言い聞かせていたこと、小学校の斎藤先生と門田巡査の見解から梅の木稲荷の現象に懐疑的だったことが分かります。				

●2017年2月現在、オンラインデータベース「ヨミダス歴史館」及び「聞蔵Ⅱビジュアル」では、大正時代初期の地域版の検索をすることはできません。

●オンラインデータベースにない新聞記事を探す場合は、本館2階戸田市関連郷土資料の棚にある『戸田市関係新聞記事索引』(分類記号 T213.4)\*1 を活用して探すことができます。

\*1『戸田市関係新聞記事索引』は、明治期から平成15年(2007)までの新聞記事を目録化したものです。5冊に分かれています。掲載内容は、見出しのみで記事本文を確認することはできません。

★今回は、主に戸田市立図書館本館の郷土資料室で所蔵している資料を紹介しました。